

日本学術会議議長金沢一郎氏より以下の手紙と資料とが送られて来ました。

「科学者の行動規範について」送付について

日本学術会議は、平成 18 年 10 月 3 日開催の第 149 回総会において、声明「科学者の行動規範について」を採択しましたので、お送りいたします。本声明の取りまとめに当たっては、幅広い意見を取り込むため、大学・研究機関や学協会等を対象にアンケート調査を本年 5 月に実施したところ、貴機関の御協力に厚く御礼申し上げます。アンケートの結果概要は、声明の参考 5 及び参考 7 に記載しています。

我々科学者は、科学と科学研究は、社会のために、そして社会とともにあることを強く認識しなければなりません。国内外で起こった科学者の不正行為は、科学そのものの発展を妨げるだけでなく、科学や科学者コミュニティの社会からの信頼を大きく損なうことになりかねず、その防止は私たち科学者が自らの問題として取り組まなければならない重要な課題です。

貴機関におかれましては、本声明を参照して、不正行為の防止を自らの課題ととらえ、それぞれの機関・分野に応じた行動規範と倫理プログラムを策定・実施し、社会の信頼を得て、主体的かつ自律的な科学研究を進めていただきたくお願いいたします。

日本学術会議は、科学者コミュニティにおける議論を喚起し、また、社会との対話を積極的に行い、科学と社会との健全な関係を築くよう引き続き努力する方針です。

なお、本声明の電子媒体を日本学術会議ホームページで提供しています。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf>

	総数	1. データ のねつ造	2. データ の改ざん ・偽造	3. 研究の 盗用、論 文の剽窃	4. プライ バシーの 侵害	5. 研究資 金の不正 使用	6. 論文の 多重投稿	7. その他
発生件数	236	13	8	48	7	44	79	37
割合 (%)	100.0%	5.5%	3.4%	20.3%	3.0%	18.6%	33.5%	15.7%
認定件数	150	3	5	31	4	33	52	22
割合 (%)	100.0%	2.0%	3.3%	20.7%	2.7%	22.0%	34.7%	14.7%
認定割合 (%)	63.6	23.1	62.5	64.6	57.1	75	65.8	59.5

当協会に関係深いものは第 6 項ですが、従来通り投稿者に厳密に履行を求めます。